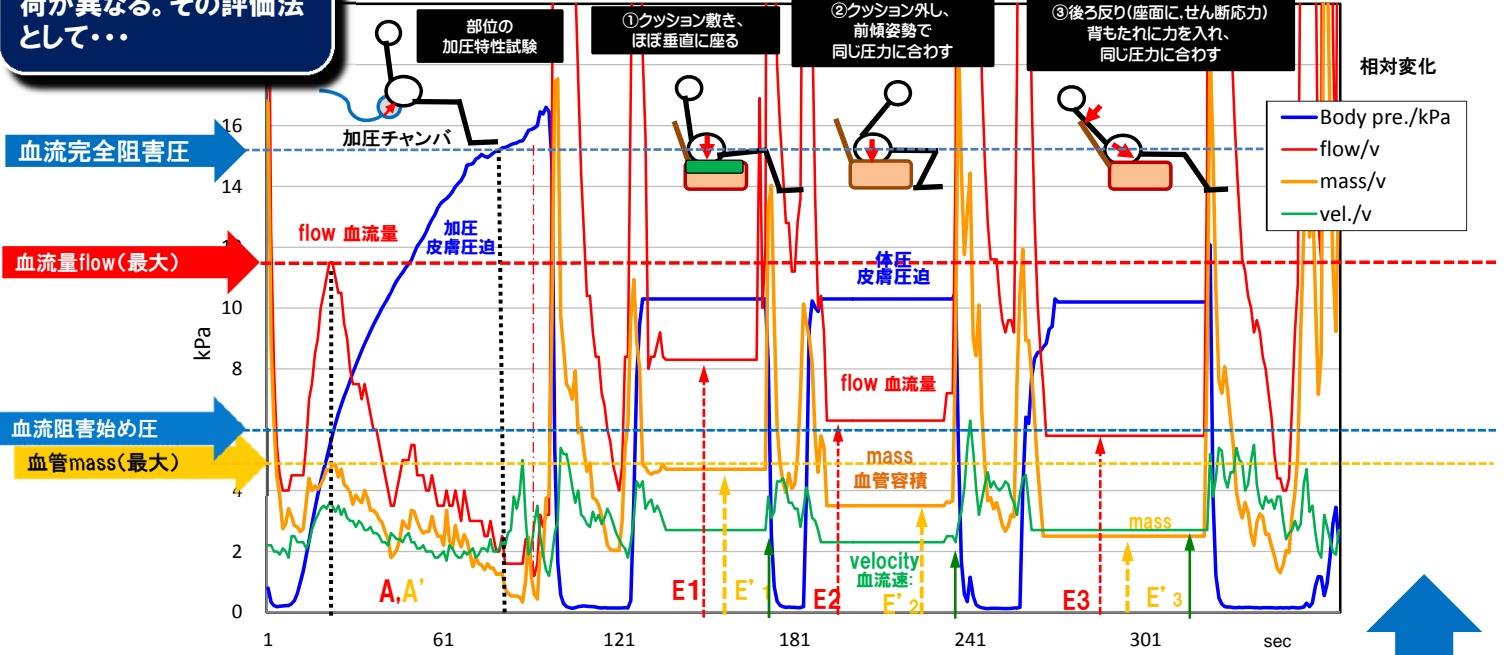


体圧・血流測定装置 A0203-0010T による測定データを、averageで解析

同じ圧力値でも、姿勢や用具によって皮膚への負荷が異なる。その評価法として・・・

同座圧の姿勢・用具で皮膚の負荷を比較(坐骨部)・・・実測の血流を平均し数値化



flow (mass × vel.) と mass は、堅さやせん断応力の影響に伴って値が下がっているが、vel. は、せん断力で血管 mass がさらに潰され狭くなりスピードが速くなったと考えられ、圧迫影響は単に mass の変化で観る方が有効と考える。

mass は、又は volume

【評価例として】

1、血流量 flow で比較 (mass × vel. = flow)

2、血液量 mass の比較

条件	坐骨部の状況	A: 11.5	E/A = %	A: 4.9	E'/A' = %
加圧特性	皮膚に垂直に加圧(血流阻害するまで)	A: 11.5	-	A: 4.9	-
①	クッションで体圧緩和	E ₁ : 8.3	72 %	E' ₁ : 4.7	96 %
②	椅子硬いが前傾で体圧緩和	E ₂ : 6.3	55 %	E' ₂ : 3.5	71 %
③	背もたれで体圧緩和、体重加圧が斜めに働く	E ₃ : 5.8	50 %	E' ₃ : 2.5	51 %

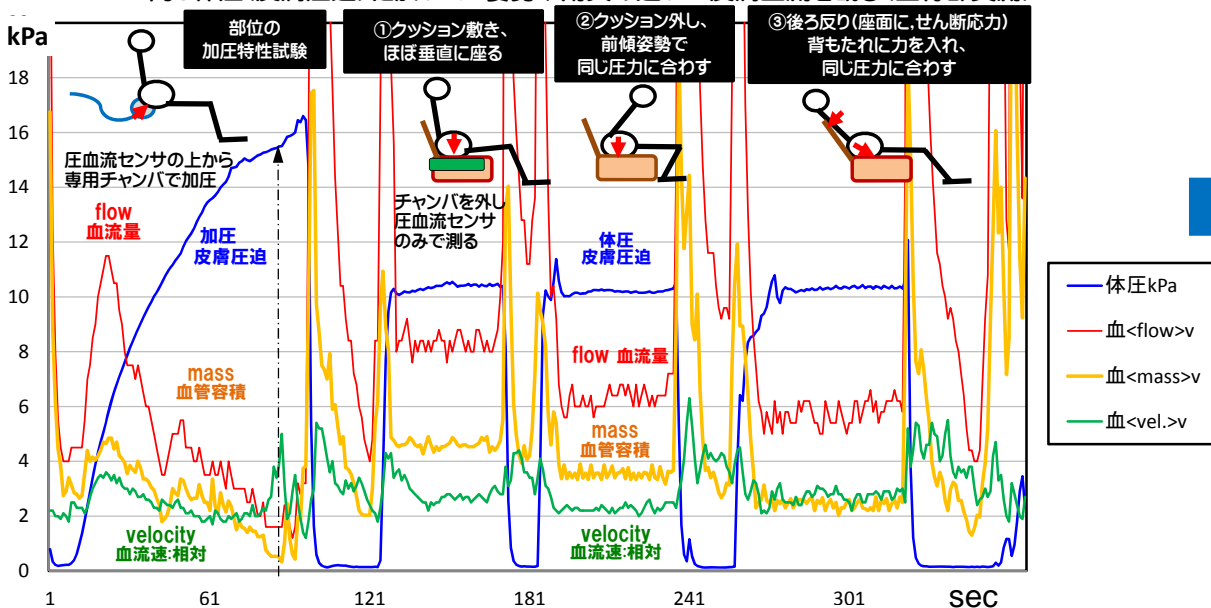
速度 vel. のデータは部分速度であったり、血管が潰れ狭くなると速度 Vel. が速くなり高いパラメーターとなり、皮膚への影響が反比例する場合も考えられる。

評価

血流量 flow が、50% に減少、mass の減少が影響

血液組織 mass が 51% に潰れ、せん断応力で負荷が大きい

同じ体圧(皮膚圧迫)に於いて、姿勢や用具の違いで皮膚血流を観る(坐骨部実測)



体圧・血流測定装置 A0203-0010T による測定

データ平均化

AMI Techno CO.,LTD.

2015/12/24